

第2学年 生活科（防災学習）学習指導案

平成24年12月5日（水）第5校時

児童数 2年 42名（男子27名、女子15名）

指導者 2年1組担任 佃 晶子

2年2組担任 中道 美保

1. 単元名 レッツゴー！ ぼうさい町たんけん

2. 単元について

本校は、須崎湾のすぐそばに位置している。今後起こるとされる南海大地震での津波予測によると、甚大な被害が予想される地域であり、全校挙げて防災教育に取り組んでいる。生活科の目標には「集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。」とある。特に、安全については、自然災害、交通災害、人的災害に十分気を付けた適切な行動や危険を回避する行動などができることにも配慮する必要性が述べられている。そこで、これらの目標を受けて、防災の観点を軸において、町探検を通して地域の理解と防災意識の高まりを狙った単元を設定した。友だちや家族と協力して町探検や話し合いをすることを通して、地域の危険な場所や避難場所について把握し、どのように避難すればよいか自分で判断し行動できる児童を育てていきたいと考えた。

本学年の児童はこれまでに、地震・津波に関するDVD視聴・紙芝居、緊急地震速報を使つての避難訓練、起震車体験など、地震や津波に対して関心を持って学習をしてきた。避難訓練では、授業中や休み時間などいろいろな場面を想定して繰り返し行ってきた。そのため学校での地震時の避難方法や行動については理解しており、状況に合わせて避難の行動をとることができるようになってきている。しかし、地震はいつどこで発生するか分からず、またまわりに大人がいるとも限らない。特に、放課後や登下校中は子どもたちだけでいる可能性が高く、自分で判断し行動できる力をつけなくてはならない。そのためには、自分たちの住む地域のどこが危険でどこへ避難すればよいかを知っておくことは大変重要である。

本単元の活動を通して、自分たちの地域の様子を知ることに加えて、地震の時に危険な箇所があり、場所や状況に応じて自分で判断して行動することが大切であることに気づかせていく。さらに、友だちや家族と協力しながら、主体的に探検活動や話し合い活動を行い、自ら進んで取り組もうとする意欲を育てたい。

本時では、町探検をして分かったことをまとめた地図を友達と発表し合い、危険予測について考える「ここにいたらどうするクイズ」をする。大地震の時にどう行動するかを、自分だけでなく友だちと一緒に考え、お互いの意見を発表し合う時間を大切にしながら、防災への意識を高めていきたい。

3. 目標

○自分たちが住む町を探検し、町の様子や公共物などに関心を持つとともに、自分たちの生活は地域の様々な場所と関わっていることが分かり、それらに興味・関心を持ち、安全に生活することができる。

○いざという時に自分で判断し、行動できる力をつける。(推進の視点A)

4. 評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
自分の生活している町に関心を持ち、友だちや家族と協力して町を探検している。地域の危険な箇所や避難経路について話し合おうとしている。	地域の様々な場所に目を向け、安全に生活することについて考えたり、町探検で危険箇所や避難経路など発見したことや気付いたことについて、自分なりの考えを持ち表現したりすることができる。	町の様子や公共物と自分たちの生活や安全とのかかわりについて気付く。

5. 指導計画（全13時間 本時10/13）

時間	学習活動	学習内容	評価規準（方法）
第1・2時	地図を見よう。	○地図を見て、自分の家の場所を探す。家から学校までの通学路にしるしをつける。 ○地図を見て、親子で通学路の危険な場所を思い出し、付箋に書いて地図上にはる。（参観日）	自分の生活している町に関心を持ち、地域の危険な箇所や避難経路について話し合おうとしている。【関心・意欲・態度】（行動観察）
実際に親子で通学路を歩き、危険な所を確認する。見つけた場所、新たに発見したこと、親と子の歩いてみての感想などをワークシートに記入する。（親子の家庭学習）			

第3時	グループ交流	調べてきたことをワークシートをもとに、グループで発表し、 <u>共通していた危険箇所</u> について話し合う。	町探検で発見したことや気付いたことについて、自分なりの考えを持ち表現したりすることができる。【思考・表現】（ワークシート・行動観察）
第4～6時	町たんけんにいこう	○町たんけんの準備 グループで <u>共通していた危険箇所</u> から何の数を数えに行くか、テーマを決める。 たんけんの約束ごとや持ち物などを考える。 ○グループごとに探検に出かける。	自分の生活している町に関心を持ち、友だちと協力して町を探検している。【関心・意欲・態度】（行動観察）
第7～10時	はっ見したことをしょうかいしよう	○調べてきたことを拡大地図に書き込み、グループごとにまとめる。ここにいたらどうするクイズを作る。 ○まとめた拡大地図を使ってグループごとに発表し合う。ここにいたらどうするクイズを出したり、答えたりする。（本時）	地域の様々な場所に目を向け、安全に生活することについて考えたり、町探検で発見したことや気付いたことについて、自分なりの考えを持ち表現したりすることができる。【思考・表現】（行動観察・地図）
第11～13時	マイマップを作ろう	○これまで調べてきたことをもとに、自分の家から学校までの通学路付近の危険なところや、避難場所、避難経路を書き込んだマイマップを作る。 ○発表し合う。学習のまとめをする。	町の様子や公共物と自分たちの生活や安全とのかかわりについて気付く。【気付き】（ワークシート） 地域の様々な場所に目を向け、安全に生活することについて考えたり、町探検で発見したことや気付いたことについて、自分

			なりの考えを持ち表現したりすることができる。【思考・表現】 (行動観察・地図)
--	--	--	---

6. 本時の指導

(1) 目標

○町探検で見つけたことや気付いたことを友達に伝えようとしたり、友だちの発表やクイズを意欲的に聞いたりすることができる。

(2) 準備物

グループの発表用拡大地図（防災マップ）

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点	評価(方法)
1. これまでの学習をふりかえり、本時の課題を知る。		
たんけんして、わかったことをはっぴょうしよう！		
2. 探検して分かったことを発表し、ここにいたらどうするクイズをする。 ① 1 グループずつ前に出て発表する。 ② グループごと防災マップを示しながら、発見したことやわかったことなどを発表する。 ③ 各グループ 1 問ずつクイズを出題する。	・発表の仕方（相手に伝わるような話し方・態度）や、発表の順番、聞く態度について確認する。 ・自分たちが発見したことや、考えたこと、感想なども入れて発表させる。 ・クイズの答えを考える際は、なぜそう思ったのか理由まで言えるようにさせる。 ・考えが思い浮かばない児童は、友だちと相談してもよいことを伝える。	町探検で見つけたことや気付いたことを友達に伝えようとしたり、友だちの発表やクイズを意欲的に聞いたりしている。 【関心・意欲・態度】 (発表・態度)
3. 本時のまとめをする。	・これまで調べてきたことなどを伝え合い、一人ひとりが防災について考えることができたことに価値があることを話す。	